



追加型投信／内外／株式

グローバル・スマート・イノベーション・オープン

(年2回決算型)／(年1回決算型) <愛称：i シフト>

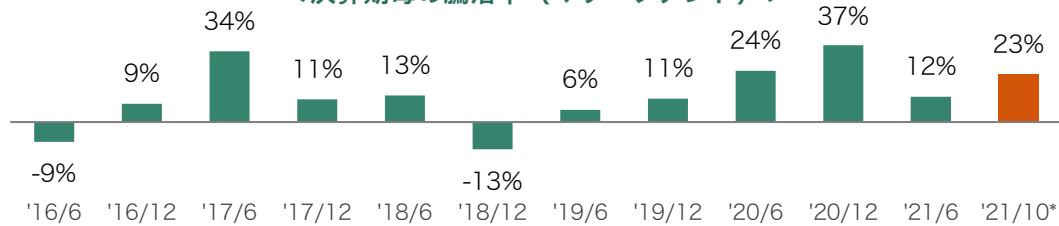
■(年2回決算型) 為替ヘッジあり／(年1回決算型) 為替ヘッジあり <愛称：i シフト (ヘッジあり)>

・本資料は「グローバル・スマート・イノベーション・オープン (年2回決算型)／(年1回決算型) <愛称：i シフト>、(年2回決算型) 為替ヘッジあり／(年1回決算型) 為替ヘッジあり<愛称：i シフト (ヘッジあり)>」の概要について投資家のみさまにお知らせするために作成したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については投資信託説明書 (交付目論見書) をご確認ください。

情報提供資料
2021年11月

決算期毎の騰落率と分配金実績

<決算期毎の騰落率 (マザーファンド)>



<当ファンドの分配金実績 (一万口当たり、税引前)>

当ファンドは決算頻度により、分配方針が異なります。

年2回決算を行うファンドは、原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円 (10,000口当たり) を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。) 詳細は後記の「ファンドの特色」をご覧ください。

	'19/6	'19/12	'20/6	'20/12	'21/6
(年2回決算型)	0円	0円	2,225円	3,418円	1,091円
(年1回決算型)	－	100円	－	100円	－
(年2回決算型) 為替ヘッジあり	0円	0円	1,882円	3,780円	487円
(年1回決算型) 為替ヘッジあり	－	100円	－	100円	－

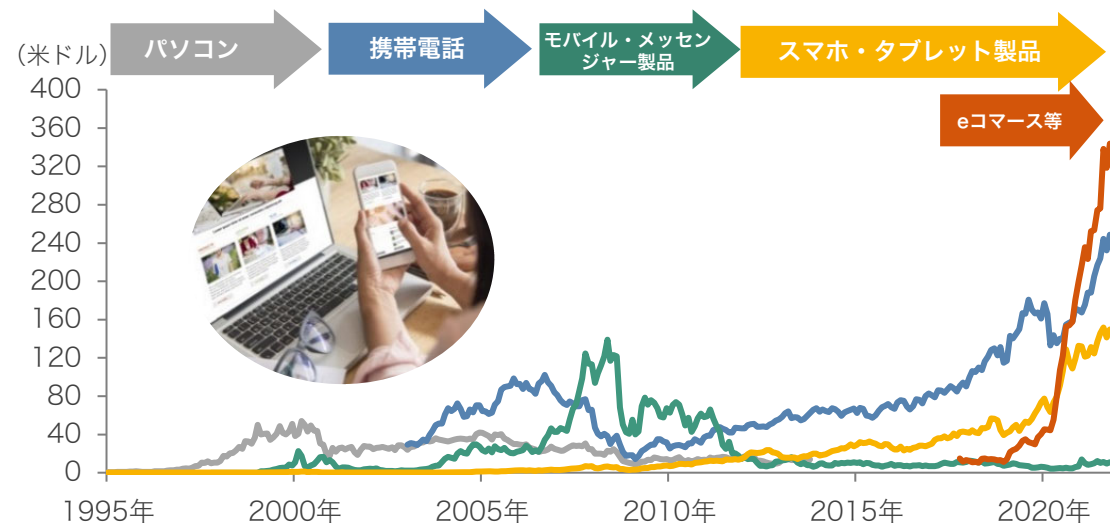
(期間) 上段グラフ：2015年12月16日～2021年10月29日

上段：マザーファンドの各決算期毎の騰落率 ('16/6は2015年12月16日からの騰落率、* '21/10は決算ではなく、'21/6決算から2021年10月29日までの騰落率です)。実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。マザーファンドでは信託報酬はかかりません。

下段：年2回決算を行うファンドは過去5期分、年1回決算を行うファンドは過去2期分の分配金実績を記載しています。運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

(ご参考) 米国に上場するテクノロジー企業の株価推移の一例

◆ テクノロジー企業は大きく成長することがある一方で、変化のスピードが速い傾向があり、今後成長していく企業を見極めていくことが重要になります。



(期間) 1995年1月～2021年10月、月次

(出所) ティー・ロウ・プライス・グループからの情報提供、Datastreamのデータを基に三菱UFJ国際投信作成
・上記は当ファンドの理解を深めていただくために、テクノロジー企業の変化のスピードを視覚化することを目的として米国に上場するテクノロジー企業の株価推移を一例として紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。
・写真はイメージです。

当ファンドの運用のポイント

◆ 情報技術およびその派生分野に関連する企業のうち、革新的技術等によって今後の成長が期待される企業の株式等を投資対象とし、中長期的な投資機会を提供します。

ポイント1 変化を見極め、様々な成長機会をとらえる

情報技術の業種の範疇にとどまらず、急速に変化するテクノロジー領域において、変化を見極め様々な成長機会をとらえることをめざします。

ポイント2 変化に対応する迅速な投資行動

≪迅速な投資行動の例≫

- リターン最大化をめざすための逆張り買い
- 割高と考える局面での利益確定の売り
- 市場混乱と考える局面でのリスク回避のポジション調整

(出所) ティー・ロウ・プライス・グループの資料を基に三菱UFJ国際投信作成
・逆張り買いとは、相場の流れに逆らって売買することをいいます。
・上記は一例であり、全てを網羅するものではありません。
・市況の変動等により、上記の運用方針通りの運用が行えない場合があります。

ポートフォリオ特性等

1. 迅速な投資行動：売買回転率

2016年： 189%
2017年： 181%
2018年： 253%
2019年： 91%
2020年： 129%
2021年： 79%

・上記は、マザーファンドにおける売買回転率です。2021年は10月末までの売買回転率です。

売買回転率とは、ファンドに組み入れている証券の売買頻度を見る指標のことで、一般的に売買回転率が高いほど取引が活発に行われていることを示します。

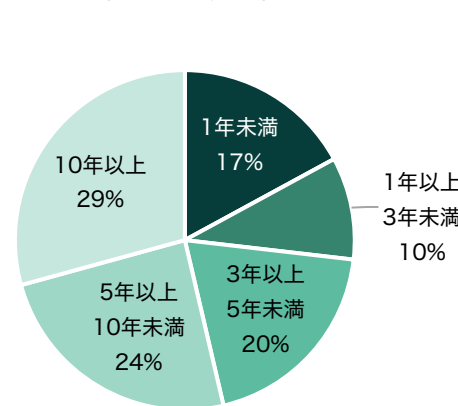
$$\text{売買回転率} = \frac{\text{購入金額} \cdot \text{売却金額のうちいずれか少ない方の金額}}{\text{当該期間におけるポートフォリオの平均時価総額}}$$

・上記の「ポートフォリオ特性等」は作成時点のものであり、今後変更になる場合があります。また上記は、一例であり全てを網羅するものではありません。

2. 相対的に高い「若い企業」の比率

上場日からの経過年数別の件数比率

<当ファンド>
(年2回決算型)

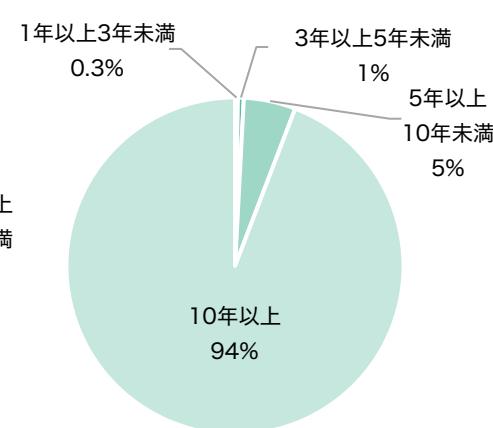


(時点) 2021年10月末

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記では、2021年10月末時点で最も純資産総額の大きい(年2回決算型)のデータを当ファンドとして掲載しています。・Bloombergの基準に基づき取得可能なデータを集計しています。・上記は指数を使用しています。指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。そのため、合計が100%とならない場合があります。

<参考：S&P500>



3. 変化に対応：組入上位20銘柄の変遷

<2020年12月末時点>

	銘柄	国・地域	組入比率
1	シー	台湾	5.0%
2	アマゾン・ドット・コム	米国	4.5%
3	ジョッピファイ	カナダ	4.0%
4	T SMC /台湾セミコンダクター	台湾	3.7%
5	アトラシアン	米国	3.2%
6	クラウドストライク・ホールディングス	米国	3.0%
7	ワークデイ	米国	2.9%
8	フェイスブック	米国	2.7%
9	ネットフリックス	米国	2.7%
10	セールスフォース・ドットコム	米国	2.6%
11	ビザ	米国	2.6%
12	テスラ	米国	2.6%
13	サービснаウ	米国	2.5%
14	アリババ・グループ・ホールディング	中国	2.4%
15	A SMLホールディング	オランダ	2.4%
16	ファーフエッチ	英国	2.4%
17	サムスン電子	韓国	2.3%
18	マスターカード	米国	2.2%
19	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)	米国	2.0%
20	トゥイリオ	米国	1.9%

■ 21年9月末と比較して上位20位から外れた銘柄

・上記では、2021年10月末時点で最も純資産総額の大きい(年2回決算型)の組入比率(純資産総額に対する割合)を掲載しています。

<2021年9月末時点>

	銘柄	国・地域	組入比率
1	シー	台湾	8.2%
2	アトラシアン	米国	6.6%
3	ハブスボット	米国	5.4%
4	ロブロックス	米国	5.2%
5	ジョッピファイ	カナダ	5.1%
6	ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ	米国	5.0%
7	オクタ	米国	5.0%
8	アマゾン・ドット・コム	米国	4.0%
9	T SMC /台湾セミコンダクター	台湾	3.9%
10	テスラ	米国	3.9%
11	サービснаウ	米国	3.5%
12	ドアダッシュ	米国	3.1%
13	A SMLホールディング	オランダ	3.0%
14	ビル・コム・ホールディングス	中国	2.6%
15	ファイブ9	米国	2.4%
16	スクエア	米国	2.3%
17	トゥイリオ	米国	2.0%
18	ビリビリ	中国	1.8%
19	モンゴDB	米国	1.5%
20	エッツィ	米国	1.5%

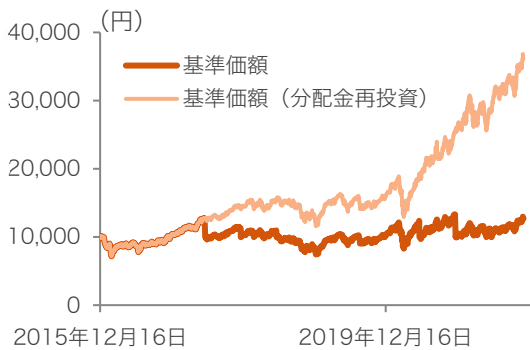
■ 20年12月末以降に新たに上位20位に入った銘柄

・マザーファンドは、実際の運用を行う「グローバル・スマート・イノベーション・マザーファンド」のことです。・グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型)を「(年2回決算型)」・グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型)を「(年1回決算型)」・グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年2回決算型) 為替ヘッジありを「(年2回決算型) 為替ヘッジあり」、グローバル・スマート・イノベーション・オープン(年1回決算型) 為替ヘッジありを「(年1回決算型) 為替ヘッジあり」という略称で記載する場合があります。また、これらを総称して「当ファンド」、各々を「各ファンド」という場合があります。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。・【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

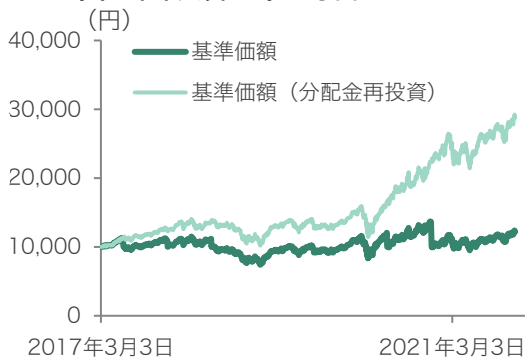
当ファンドの設定来の基準価額推移



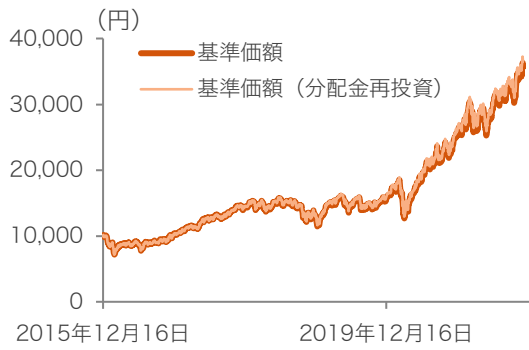
■（年2回決算型）



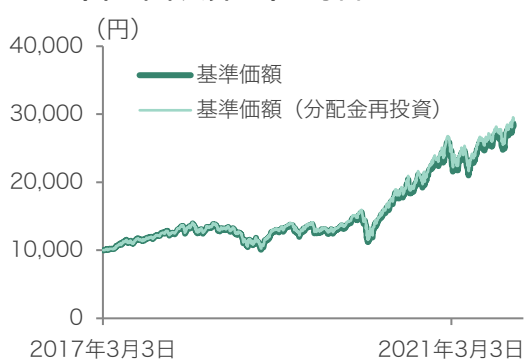
■（年2回決算型）為替ヘッジあり



■（年1回決算型）



■（年1回決算型）為替ヘッジあり



（期間）上段グラフ：2015年12月16日～2021年11月19日、日次 下段グラフ：2017年3月3日～2021年11月19日、日次
・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりで運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものととして計算しています。

ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクのご紹介

- ◆ 当ファンドの実質的な運用は、米国ティー・ロウ・プライス・グループの運用会社であるティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクが行います。

ティー・ロウ・プライス・グループ

（2021年9月末時点）

- ◆ 米国の歴史ある運用会社：1937年設立
- ◆ 運用資産残高：約180兆円*
- ◆ 株式アクティブ運用に強み

株式運用のプロフェッショナル：315名

*為替は1米ドル＝111.575円で換算



（ご参考）類似運用戦略の運用実績（米ドルベース）



（期間）グラフ：2000年10月～2021年9月、月次
（出所）ティー・ロウ・プライス・グループの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

上記は、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクが運用する類似の運用戦略である、「グローバル・テクノロジー・エクイティ・コンポジット」の実績です。当ファンドは、類似運用戦略と同様の運用プロセスで運用しますが、当ファンドは未公開株式への投資を行わない点や同一発行体への投資を純資産総額の10%以下に抑える点などで類似運用戦略とは異なります。類似運用戦略の運用実績と当ファンドの運用実績とは直接的な関係はありません。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。コンポジットとは、運用のパフォーマンス測定のため、類似の投資目的、投資戦略に基づき運用される複数のファンドをまとめたものをいいます。

・世界情報技術株式は指数（MSCI オールカンントリー・ワールド 情報技術 インデックス（米ドルベース））を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。当該指数は当ファンドのベンチマークではありません。ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク・グローバル・テクノロジー・エクイティ・コンポジットは、運用報酬控除前、米ドルベース、配当および収益再投資のパフォーマンスを表しています。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式等を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および配当収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 情報技術およびその派生分野に関連する企業のうち、革新的技術等によって今後の成長が期待される企業の株式等に投資を行います。
2. 株式等の運用にあたっては、ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インクに運用指図に関する権限を委託します。
3. <（年2回決算型）為替ヘッジあり>/<（年1回決算型）為替ヘッジあり>原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。<（年2回決算型）>/<（年1回決算型）>原則として為替ヘッジを行いません。
<（年2回決算型）為替ヘッジあり>/<（年1回決算型）為替ヘッジあり> 為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨の金利より低いときには、これらの金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。
4. <（年2回決算型）為替ヘッジあり>/<（年2回決算型）>年2回決算を行い、収益の分配を行います。
<（年1回決算型）為替ヘッジあり>/<（年1回決算型）>年1回決算を行い、収益の分配を行います。
<（年2回決算型）為替ヘッジあり>/<（年2回決算型）> 毎年6月5日および12月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）※分配後の基準価額が必ずしも10,000円になるとは限りません。
<（年1回決算型）為替ヘッジあり>/<（年1回決算型）> 毎年12月5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

【収益分配方針】

・分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます）等の全額とします。
・収益分配金額は、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドの費用と投資リスク（ご購入の際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。）

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

【購入時手数料】購入価額に対して、**上限3.30%（税抜 3.00%）** 販売会社が定めます。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【信託財産留保額】換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

【運用管理費用（信託報酬）】各ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.980%（税抜 年率1.800%）**をかけた額

【その他の費用・手数料】監査法人に支払われる各ファンドの監査費用／有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料／有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用／マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額／その他信託事務の処理にかかる諸費用等
※その他の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※（年2回決算型）為替ヘッジあり／（年2回決算型）：運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※（年1回決算型）為替ヘッジあり／（年1回決算型）：運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時に各ファンドから支払われます。

※実質的な投資対象である不動産投資信託証券には運用等にかかる費用が発生しますが、投資する不動産投資信託証券は固定されていない等により、あらかじめ金額および上限等を記載することはできません。

※上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、各ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

投資リスク

基準価額の変動要因：基準価額は、株式・リート市場の相場変動による組入株式・リートの価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの**運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します**。したがって、**投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります**。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カンントリー・リスクです。**上記は主なりリスクであり、これらに限定されるものではありません**。くわしくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

本資料に関するご注意事項等

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

【本資料で使用している指数について】本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ（<https://www.am.mufig.jp/other/disclaimer.html>）を合わせてご確認ください。

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

設定・運用は

販売会社は右記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

お客さま専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間／営業日の9:00～17:00）

●ホームページアドレス：<https://www.am.mufig.jp/>